

CFRL ニュース目次

No. 107 (2019. 3. 1)

1. On the 30th anniversary of the Discovery of the Cold Fusion Phenomenon.
2. *Proceedings of the International Conference on the Application of Microorganisms for the Radioactive Waste Treatment* (May 18, 2018, Pukyung National University, Busan, Korea) was published in the electronic *Journal of Condensed Matter Nuclear Science* Vol. 28 (2019) and posted at the CMNS website;
<http://www.iscmns.org/CMNS/CMNS.htm>
3. The Paper “*Nuclear Transmutations and Stabilization of Unstable Nuclei in the Cold Fusion Phenomenon*” (presented at Busan Conference) was published in *J. Condensed Matter Nucl. Sci.* 28, 1 – 21 (2018), ISSN 2227-3123.
4. Extended versions of three papers presented at JCF19 (Morioka, Nov. 9 – 10, 2018) are published in Reports of CFRL and posted at the CFRL Website;
<http://www.geocities.jp/hjrfq930/Papers/paperr/paperr.html> (until March 15, 2019)
<http://www.kozima^cfrl.com/Papers/paperr/paperr.html> (after March 15, 2019)
5. The URL of this Website will be changed to
<http://www.kozima^cfrl.com/>
after March 15, 2019.

No. 106 (2018. 10. 20)

1. JCF19 will be held on Nov. 9 – 10, 2018 in Morioka, Japan
2. A Paper “*Nuclear Transmutations and Stabilization of Unstable Nuclei in the Cold Fusion Phenomenon*” has been published in *Reports of CFRL*
3. A paper “Development of the Solid State-Nuclear Physics” was presented at ICANP-2018.
4. ICCF21 was held in Colorado, USA
5. 視れども見えず、聴けども聞こえず

No. 105 (2018. 6. 1)

1. ICAMRWT-2018 が May 17, 2018 に韓国の釜山で開かれました
2. ICAMRWT-2018 で発表された論文 “Nuclear Transmutations and Stabilization of Unstable Nuclei in the Cold Fusion Phenomenon” の Abstract を掲載しました。
3. Yuri Bazhutov が逝去しました
4. ICAMRWT で配布した”Introduction to CFRL and Neutron Drop Model”を掲載し

ました

No. 104 (2018. 1. 20)

6. JCF18 が 11 月 24 – 25 日に仙台で開催されました
7. ICCF21 が Fort Collins, Co., USA で 6 月 1 – 4 日に開催されます
8. ICANP-2018 が 7 月 23 – 25 日に大阪で開催されます
9. JCF19 が 10 月 (あるいは 11 月) に盛岡で開催されます
10. Abstract of “Development of the Solid State-Nuclear Physics” by H. Kozima to be presented at ICANP-2018
6. Proceedings of ICCF20 が発行されました

No. 103 (2017. 11. 1)

1. Proceedings of JCF17 が発行されました
2. CFRL からの 2 編の論文が Proc. JCF17 に掲載され、その拡張版が Reports of CFRL として発行されました
3. JCF18 が 11 月 24 - 25 日に仙台で開催されます

No. 102 (2017. 4. 1)

1. JCF17 が開催されました
2. CFRL から 2 編の論文が発表されました
3. ICCF20 が October 2 – 7, 2006 に仙台で開催されました

No. 101 (2016. 11. 15)

1. Proceedings of JCF16 が 11 月 10 日に発行されました
2. CFRL からの 4 編の論文が Proc. JCF16 に掲載されています
3. ICCF20 が October 2 – 7, 2006 に仙台で開催されました

No. 100 (2016. 9. 15)

1. Proceedings of JCF16 が発行されました
2. CFRL から 4 編の論文が Proc. JCF16 に発表されました
3. ICCF20 が October 2 – 7, 2006 に仙台で開催されます。

No. 99 (2016. 7. 1)

1. John Dash passed away on April 13, 2016. Obituary by Christy L. Frazier of *Infinite Energy*
2. John Dash, –My Personal Memoir of a Great Experimental Physicist

3. *The Science of the Cold Fusion Phenomenon*, 2nd Edition (in preparation)
4. ICCF20 will be held in Sendai, Japan on October , 2016
5. ITER will start on 2025

No. 98 (2016.3.1)

1. 下記の 4 編の論文が *Proc. CFRL* で発行されました。

- (1) H. Kozima, “Nuclear Transmutations in Polyethylene (XLPE) Films and Water Tree Generation in Them (2)” Reports of CFRL (Cold Fusion Research Laboratory) 16-1, 1 – 6 (February, 2016)
- (2) H. Kozima, “Biotransmutation as a Cold Fusion Phenomenon,” Reports of CFRL (Cold Fusion Research Laboratory) 16-2, 1 – 25 (February, 2016).
- (3) H. Kozima and K. Kaki, “The Cold Fusion Phenomenon and Neutrons in Solids,” Reports of CFRL (Cold Fusion Research Laboratory) 16-3, 1 – 43 (February, 2016)
- (4) H. Kozima, “From the History of CF Research – A Review of the Typical Papers on the Cold Fusion Phenomenon –,” Reports of CFRL (Cold Fusion Research Laboratory) 16-4, 1 – 43 (February, 2016).

2. E-Cat のその後の情報

No. 97 (2015.11.10)

1. JCF16 が 12 月 11, 12 日に京都大学で開催されます。
2. CFRL から JCF16 で発表される論文の Abstracts
3. Rossi has been granted US patent on the E-Cat

No. 96 (2015.08.15)

1. CFP 研究の歴史から(10) — 常温核融合現象に対する TNCF モデルと固体中の中性子 —

No. 95 (2015.07.20)

1. Proc. JCF15 が発行され、JCF ウェブサイトに掲示されました
2. CFP 研究の歴史から(9) — 常温核融合現象における定性的再現性と複雑性 —

No. 94 (2015.06.10)

3. CFP 研究の歴史から(8) — Carbon-Hydrogen 系 (Graphite, XLPE and Microbial Cultures) における核変換 —

No. 93 (2015.05.10)

1. CFP 研究の歴史から(7) — N.J.C. Packham et al. による Pd/D/Li 系における最初の信頼できるトリチウムの測定
2. H. Kozima, “The TNCF Model and the E-Cat” が *E-Cat World website* に掲載されました.
3. French Cold Fusion Research Group が設立されました

No. 92 (2015.04.10)

1. CFP 研究の歴史から(6) — M. Okamoto et al. (1993, 1994) による核変換生成物の局在の最初の確認
2. D.J. Nagel “Lattice-enabled nuclear reactions in the nickel and hydrogen gas system” *Current Science*, Vol. 108, No. 4, 646 – 652 (2015)
3. 訃報: Dr. A. Karabut (– 2015. 3. 15)

No. 91 (2015.03.10)

1. CFP 研究の歴史から(5) — M.C.H. McKubre et al. (1993, 1994) による重水系における最も詳細な過剰熱の測定
2. 論文“Excess Energy Data in a Pd/D System Examined” by Hideo Kozima が *Reports of CFRL* 15-3, 1 – 6 (February, 2015)として発行されました。

No. 90 (2015.02.10)

1. CFP 研究の歴史から(4) — S.E. Jones et al. (1989) による中性子エネルギー・スペクトルの最初の測定とその後の展開
2. *Cold Fusion and Elemental Energy (Cold Fusion)* に発表された論文を CFRL Website にアップロードしました

科学者の品位について (4) — STAP 細胞スキャンダルの終焉

No. 89 (2015.01.10)

1. CFP 研究の歴史から(3) — R.T. Bush et al. (1993, 1994) による軽水系における核変換の検出
2. 論文“Elemental Transmutation in Biological and Chemical Systems” by Hideo Kozima, Katsuhiko Hiroe, Masahiro Nomura, Masayuki Ohta が *Reports of CFRL* 15-1, 1 – 5 (January, 2015)として発行されました。

3. 3. ICCF19 will be held in Padua, Italy on April 13 – 17 , 2015.

No. 88 (2014. 11. 20)

1. CFP 研究の歴史から(2)— Morrey et al. (1990) による ^4He の測定
2. XLPE (Cross-linked Polyethylene) における核変換の新しいデータ
3. JCF15 が 11 月 1–2 日に、北海道で開催されました

No. 87 (2014. 09. 01)

1. CFP 研究の歴史から(1)—*DOE Report 1989* と *DOE Report 2004*
2. 核変換が商業月刊誌「日経エコロジー」にとりあげられました
3. 科学者の品位について (3) — STAP 細胞スキャンダル—

No. 86 (2014. 07. 01)

1. Proceedings of the 14th JPS Meeting が発行されました。
2. Cold Fusion Research Laboratory からの 4 編の論文が *Proc. JCF14* に掲載されています。
3. 2013 年度 日本ウォータージェット学会 技術年次報告会で、小島英夫による次の講演がなされました:[特別講演]「常温核融合現象の科学」
4. E-CAT の現在

No. 85 (2014. 03. 20)

1. 4 編の論文が *Reports of Cold Fusion Research Laboratory* に発表されました。
2. 科学者の品位について(2)

No. 84 (2014. 01. 10)

1. 科学者の品位について
2. 訃報: Prof. John O'Mara Bockris (1923 – 2013)

No. 83 (2013. 12. 10)

1. JCF14 が 12 月 7, 8 日に東京で開催され、常温核融合研究所から4編の論文が発表されました。
2. E-CAT と Ni-H 系での常温核融合現象。
3. Storms-Krivit 論争と常温核融合現象の科学へのアプローチ。

No. 82 (2013. 11. 20)

1. JCF14 が 12 月 7, 8 日に東京で開催されます。
2. *Infinite Energy*, Issue 112 (November/December 2013) が発行され、
“LENR Modeling: Nine Theoretical Papers“ が掲載されています。
3. 矢野経済研究所の月刊誌 *Yano E plus* に、「常温核融合技術動向」が掲載されています。

No. 81 (2013. 05. 20)

1. JCF13 の Proceedings に 3 篇の論文が掲載されます。
2. M. Fleischmann への B. Josephson の obituary (故人紹介)。
3. 平木昭夫「新しい放射能低減技術への手掛かりか？それとも—真夏の夜の夢なのか？」

No. 80 (2012. 12. 20)

1. JCF13 が名古屋で開催されました。
2. JCF13 でCFRLから 3 篇の論文を発表しました。

No. 79 (2012. 09. 10)

1. ICCF17 が韓国で開催されました。
2. 訃報 2 通。常温核融合現象の研究に大きな貢献をしたMartin Fleischmann (August 3) と Hal Fox (August 20) とが亡くなりました。
3. JCF13 が12月に名古屋で開催される予定です。下記の3篇の論文を発表する予定です。

No. 78 (2012. 02. 01)

1. *Reports of CFRL (Cold Fusion Research Laboratory)* の論文が更新されました。
2. *New Energy Times* が Theory Portal Page を開設しました。

No. 77 (2011. 12. 20)

1. *JCF12* が開催されました。
2. CFRL からの 2 編の論文がJCF12で発表されました。

3. 常温核融合現象に関係した特許について。

No. 76 (2011. 9. 23)

1. *Proc. JCF11* が発行されました。
2. CFRL からの 3 編の論文が *Proc. JCF11* に掲載されています。
3. JCF12 が 12 月 17, 18 日に神戸大学で開催されます。
4. ICCF17 が 2012 年 8 月 12–17 日に韓国で開催されます。

No. 75 (2011. 4. 20)

1. コンプレクシティ、常温核融合現象、そして地震。
2. 低レベル放射線の生理学的作用について。

No. 74 (2011. 1. 20)

1. JCF11 が 12 月 11–12 日に岩手大学で開かれました。
2. JCF11 で CFRL から 3 編の論文が発表されました。
3. *Proceedings of ICCF14* が発行されました。
4. *Proceedings of JCF10* が発行されました。

No. 73 (2009. 10. 20)

1. APS March Meeting の Cold Fusion Session が 3 月 16 日に開かれました。
2. ACS National Spring Meeting in Salt Lake City (March 22 – 26, 2009) が開催されました。
3. JCF9 が 3 月 28、29 の両日、静岡で開催されました。

4. *Proceedings of JCF9* が発行されました。
5. JCF9 で CFRL から 3 編の論文が発表されました。
6. ICCF15 (October 5 – 9, Rome, Italy) が開催されました

No. 72 (2008. 10. 25)

1. 4 編の論文が *Reports of CFRL (the Cold Fusion Research Laboratory)* に出ました。
2. 2 編の論文が ACS National Spring Meeting in Salt Lake City (March 22 – 26, 2009) で発表予定です。
3. ICCF14 が Washington D.C., USA で開催されました。

No. 71 (2008. 08. 06)

1. Agenda of ICCF14 (August 10 – 15, 2008, Washington D.C., USA) が発表されました。
2. CFRL からの二つの論文が ICCF14 で発表されます
3. On the Recent Trend of the Cold Fusion Research.

No. 70 (2008. 04. 10)

1. *Proceedings of JCF8* (November 29 – 30, Kyoto) が発行されました。
2. ICCF14 が8月10日からWashington D. C. で開催されます。

No. 69 (2007. 12. 10)

1. *Reports of CFRL (the Cold Fusion Research Laboratory)* に6編の論文が出版されました
2. 日本放射化学会 (September 24-26, 2007, Shizuoka) の核化学分科で、講演 “Nuclear Chemistry in the Cold Fusion Phenomenon” がなされました
3. アメリカ物理学会の年会 (March 5, 2007, Denver, Colorado) で Cold Fusion Session が開催されました
4. ICCF13 (June 25 – July 1 in Sochi, Russia) が開催されました
5. 第 8 回国際ワークショップ Anomalies in Hydrogen/Deuterium Loaded Metals が

シシリーで開催されました

6. JCF8 (November 29 – 30, Kyoto) が開催されました

No. 68 (2007. 5. 1)

1. 物理学科の春学期のセミナーでCFPの最近の話題を提供しました
2. *The Journal of New Energy* No.7-2 (2007) がまもなく刊行されます

No. 67 (2007. 4. 5)

1. Proc. ICCF12 が刊行されました。
2. ICCF13で発表するわれわれの論文のAbstractを投稿しました
3. Free Internet Encyclopedia “Open-Site” が公平にCFPの研究を紹介しています

No. 66 (2006. 11. 3)

1. ICCF13 が来年 6 月に開催されることが決まりました
2. JCF7 のProceedingsが発行されました

No. 65 (2006. 8. 6)

1. H. Kozima, ”The Science of the Cold Fusion Phenomenon” (Elsevier, 2006) が発刊されました。
2. ICCF13 in Russia のおおまかな開催予定。

No. 64 (2006. 3. 10)

1. Proc. ICCF10 が発行されました。
2. Proc. ICCF11 が発行されました。
3. 固体中の新しい中性子源が提案されました。

No. 63 (2005. 12. 10)

1. 『『常温核融合』を科学する』(工学社) が刊行されました。
2. H. Kozima, *Science of Cold Fusion* (tentative title) がElsevierから刊行されます。
3. ICCF12 が 11 月 – 12 月に横浜で開催されました。
4. JCF7 が 2006 年 4 月に鹿児島で開催されます。

No. 62 (2005. 8. 10)

1. *J. New Energy* Vol.7, No.1 が刊行されました。
2. H. Kozima, J. Warner and C. Salas Cano and J. Dash, “TNCF Model Explanation of Cold Fusion Phenomenon in Surface layers of Cathodes in Electrolytic Experiments” *J. New Energy* 7-1, 64 – 78 (2003) が、漸く活字になりました。
3. 小島英夫著 『『常温核融合』を科学する－現象の実像と機構の解明－』(工学社) が出版されます。

No. 61 (2005. 5. 20)

1. 論文 “The Cold Fusion Phenomenon and a Complexity (1) – Complexity in the Cold Fusion Phenomenon –“ *Proc. JCF6* (April 27 – 28, 2005, Meguro, Tokyo, Japan)に掲載予定
2. H. Kozima, “Cold Fusion Phenomenon” *Rep. Fac. Science, Shizuoka Univ.* **39**, 1-69 (2005) が出版されました。
3. JCF6 (April 27 – 28, 2005, Meguro, Tokyo, Japan) が開催されました。

No. 60 (2005. 2. 20)

1. 論文 “Cold Fusion Phenomenon and Solid State-Nuclear Physics” *Proc. ICCF11* (Oct. 31 – Nov. 5, 2004, Marseille, France)に掲載予定
2. “Nature” が DOE Report 2004 について報道しました
3. *Proc. ICCF10* は夏以降に発行されるようです
4. 常温核融合研究所ニュース CFRL News の 60 号

No. 59 (2004. 12. 10)

1. ICCF11 が開かれました
2. 論文“Cold Fusion Phenomenon and Solid State-Nuclear Physics”を ICCF11 で発表しました。
3. 2004 年の“DOE 報告”が 12 月 1 日に発表されました。

No. 58 (2004. 10. 20)

1. 論文“*Cold Fusion Phenomenon and Solid State-Nuclear Physics*”を ICCF11 で発表します。
2. 常温核融合現象 (CFP) と Fleischmann の仮説
3. S. B. Krivit and N. Winocur, “*The Rebirth of Cold Fusion — Real Science, Real Hope, Real Energy*” was published.

No. 57 (2004. 7. 1)

1. **Quantum Physics of the Cold Fusion Phenomenon (H. Kozima, Portland State University)**が発刊されました。
2. 「凝縮系核科学と未来の革新的な熱・電気エネルギー技術」シンポジウムが開かれます。
3. ICCF11 の予告

No. 56 (2004. 4. 1)

1. *Report of CFRL* に 2 編の論文が発表されました。
2. “*The Cold Fusion Report*” by S.B. Krivit and N. Winocur was published.
3. **U.S. Department of Energy Will Review 15-Years of "Cold Fusion" Excess Heat and Nuclear Evidence**

-----A letter from: New Energy Foundation, Inc. March 20, 2004

<http://www.geocities.jp/hjrfq930/News/CFRLJpnNews/CFRLNs56.htm>

No. 55 (2004. 3. 20)

1. *Report of CFRL* に 3 編の論文が発表されました。
 2. ICCF11 が 10 月 31 日-11 月 5 日にマルセイユ Marseilles, France で開かれます。
- <http://www.geocities.jp/hjrfq930/News/CFRLJpnNews/CFRLNs55.htm>

No. 54 (2004. 3. 10)

1. **Reports of Cold Fusion Research Laboratory (Reports of CFRL) 発刊。**

2. 第 5 回アスティワークショップが開かれます。
3. L. Sapogin, “Unitary Quantum Mechanics and New Energy Source” (ロシア語) が刊行されました。
4. ”Bubble Fusion” が再試で検証されました。

<http://www.geocities.jp/hjrfq930/News/CFRLJpnNews/CFRLNs54.htm>

No.53 (2004. 1. 10)

1. フランスの de Broglie 財団の研究会で常温核融合現象が取り上げられました。
2. JCF5 が開かれました。
3. 国際固体核科学協会 International Society of Condensed Matter Nuclear Science (ISCMNS)の設立

<http://www.geocities.jp/hjrfq930/News/CFRLJpnNews/CFRLNs53.htm>

No. 52 (2003. 12. 20)

- 1) ICCF10 が開かれました。
- 2). ICCF10 のアブストラクトの目次

<http://www.geocities.jp/hjrfq930/News/CFRLJpnNews/CFRLNs52.htm>

No. 51 (2003. 8. 10)

- 1) 「安定性効果」“Stability Effect” 常温核融合現象における一つの法則

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs51.htm>

No. 50 (2003. 6. 25)

- 1) ICCF9 のプロシーディングスが発行されました
- 2) “AN OUTSIDER’S VIEW OF COLD FUSION” by T.J. Dolan
- 3) ICCF10 がマサチューセッツ州ケンブリッジ市で開催されます

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs50.htm>

No. 49 (2003. 6. 10)

- 1) 2003 ANS Annual Meeting (June 1 –5, 2003, San Diego, CA) のプログラムと Transactions of ANS Vol. 88 (2003)の目次

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs49.htm>

No. 48 (2003. 4. 20)

- 1) 「国際学会(International Organization)設立の提唱」再論 (cf. *News No.33*)
- 2) “Reasonable Doubt” by Bennett Daviss (*New Scientist* Vol.177, issue 2388, March 29, 2003, p. 36)
- 3) 2003 ANS Annual Meeting, June 1 –5, 2003, San Diego, CA のプログラム
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs48.htm>

No. 47 (2003. 3. 10)

- 1) Hideo Kozima “New Neutron State in Transition-Metal Hydrides and Cold Fusion Phenomenon.” (ANS Annual Meeting, June 2003 にて発表予定)
- 2) Proceedings of JCF4 (Oct. 17-18, 2002, Morioka, Japan) が出版され、ウェブサイトに掲示されました。
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs47.htm>

No. 46 (2003. 1. 15)

- 1) 常温核融合現象とビーム・固体相互作用
- 2) 「非熱核融合」講演会(2002年1月31日)が開催されます。
- 3) H. Ikegami and R. Pettersson, “Evidence of Enhanced Nonthermal Nuclear Fusion” *Bulletin of Institute of Chemistry, Uppsala University, September 2002.*の Abstracts
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs46.htm>

No. 45 (2002. 12. 20)

- 1) Proceedings of ICENES 2002 が刊行されました
- 2) TESMI Meeting (Italian CF Meeting)のプログラム
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs45.htm>

No. 44 (2002. 11. 20)

1) アメリカ原子力学会 ANS 年会 (June 1 – 5, 2003, San Diego) で常温核融合 LENR 分科が開かれます(論文募集)

2) 次の論文が JJAP に掲載されました。R.A. Oriani and J.C. Fisher, "Generation of Nuclear Trucks during Electrolysis

3) 第 10 回ロシア会議のプログラム

The RCCNTCE10 (The 10th Russian Conference on Cold Nuclear Transmutations of Chemical Elements and Ball-Lightening)

September 29 - October 6, 2002, Dagomys, Sochi

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs44.htm>

No. 43 (2002. 11. 15)

1) INE 2002 Symposium の報告 (Hal Fox).

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs43.htm>

No. 42 (2002. 11. 10)

1) 常温核融合に関するイタリア会議が12月に開催されます (論文募集).

2) JCF4-Morioka (4th Meeting of Japan CF Research Association, October 17-18, 2002, Morioka, Japan) の私的報告

3) 常温核融合研究における科学と特許について (On the Science and Patentability in CF Research)

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs42.htm>

No. 41 (2002. 10. 20)

1) ICENES2002 の簡単な私的報告

2) ICCF10 の開催通知第 1 報

3) ICENES2002 で報告した論文

“The Cold Fusion Phenomenon and Its Application to Energy Production and Nuclear Waste Remediation”

の講演要旨

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs41.htm>

No. 40 (2002. 9. 20)

- 1) JCF4-Morioka Meeting- プログラムが決まりました
- 2) ENS/ANS Joint Meeting on March 2003 (発表論文募集)
- 3) "Energy Technology Data Exchange" ウェブサイト
- 4) "Neutron Drops and Production of Larger Mass-Number Nuclides in Cold Fusion Phenomenon (CFP)" by H. Kozima – JCF4 で発表予定の論文
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs40.htm>

No. 39 (2002. 8. 20)

- 1) ICENES 2002 のプログラム
- 2) ICENES 2002 で発表予定の論文
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs39.htm>

No. 38 (2002. 8. 10)

- 1) INE Symposium 2002 (論文募集)と発表予定論文
- 2) 4th Meeting of Japan CF Research Society (論文募集)
- 3) "Bubble Fusion"が否定された！
- 4) 常温核融合現象に関する論文でみる雑誌の科学度
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs38.htm>

No. 37 (2002. 7. 20)

- 1) 第11回原子力エネルギーシステム国際会議(11th International Conference on Emerging Nuclear Energy Systems)
- 2) アメリカ物理学会執行委員会の非科学的研究に反対する声明 (APS Executive Board's Statement on Violation of Physical Principles)
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs37.htm>

No. 36 (2002. 6. 10)

- 1) ICCF9 が成功裏に開催されました
- 2) ICCF9 における口頭発表"Excited State of Neutrons in a Nucleus and Cold Fusion Phenomenon in Transition-Metal Hydrides and Deuterides"
- 3) "Solid State-Nuclear Physics"の授業評価 (2)
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs36.htm>

No. 35 (2002. 5. 10)

- 1) ICCF9 で発表予定の論文
- 2) “Solid State-Nuclear Physics”の授業評価
- 3) *International Journal of Low Energy Nuclear Reactions* が発足します
- 4) Navy Laboratory *Technical Report No.1862*
S. Szpak and P.A. Mosier-Boss, ed., “Thermal and Nuclear Aspects of the Pd/D₂O System,”
- 5) 9th Russian Conference on Cold Nuclear Transmutation of Chemical Elements (September/October, 2001)

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs35.htm>

No. 34 (2002. 4. 10)

- 1) 講義ノート “Solid State-Nuclear Physics” (3)
– “捕獲中性子”と原子核の相互作用 –
- 2) “Isaac Newton’s Model” by J. Bronowski について
- 3) CFRL モデルが宣伝されましたが、キャッチフレーズは今一でした
- 4) アメリカ物理学会の Cold Fusion セッションが開かれました
- 5) ICCF9 (北京) で 100 以上の論文が発表されます

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs34.htm>

No. 33 (2002. 3. 10)

- 1) “Solid State-Nuclear Physics”講義ノートから (2)
– TNCF モデルの発展
- 2) 国際学会(International Organization)設立の提唱
- 3) CFRL ウェブサイトと News の存在意義
- 4) Sonofusion がオークリッジ国立研究所で観測された！

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs33.htm>

No. 32 (2002. 2. 10)

- 1) “Arata Cell”を用いた実験における過剰熱.Q, ヘリウム⁴He, ヘリウム³He and トリチウム³H の測定について

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs32.htm>

No. 31 (2002. 1. 10)

1) “Solid State-Nuclear Physics”講義ノートから(1)

—シラバス

2). “Arata Cell”を使った実験について

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs31.htm>

No. 30 (2001. 12. 10)

1) 常温核融合現象における表面核反応と核変換の最初の観測

2) ICCF9 の最新のウェブサイト

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs30.htm>

No. 29 (2001. 11. 10)

1) 常温核融合の講義が PSU の冬学期に開講されます

2) ”The Making of the Atomic Bomb” by Richard Rhodes を読む(2)

中性子物理学の発展—科学の応用の役割

3).INE シンポジウム 2001 報告(1)

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs29.htm>

No. 28 (2001. 10. 10)

1) Abstract of a paper “Cold Fusion Phenomenon and Atomic Processes in Transition-metal Hydrides and Deuterides” by H. Kozima to be presented at IEN Symposium 2001

2) 雑誌 Fusion Science and Technology の編集方針の変質についての考察、

3) JCF3 のプログラムと論文要旨のみられる Website、

4) US Patent 6,248,221 “Electrolysis apparatus and electrodes and electrode material therefore” by R.R. Davis et al.の紹介

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs28.htm>

No. 27 (2001. 8. 10)

- 1) New Paper appeared in Fusion Science and Technology
- 2) T. Chubb, Report of DOE Public Meeting, Washington D.C. June 26, 2001
- 3) INE Symposium October 26-27, 2001, Salt Lake City, Utah, USA の Announcement
- 4) RCCNT9 September 30 – October 7, 2001 Dagomys, Sochi, Russia の Announcement

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs27.htm>

No. 26 (2001. 7. 10)

- 1) “Possible Explanation of ^4He Production in a Pd/D₂ System by the TNCF Model” が *Fusion Science and Technology* に掲載されます、
- 2) “Ni-H System” by E.G. Campari et al. *Proc. ICCF8* p.69 (2001) について、
- 3) On the Cold Fusion Research by Robert E. Smith
- 4) JCF3 Announcement

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs26.htm>

No. 25 (2001. 6. 10)

- 1) Rolison and W.E. O’Grady, “Observation of Elemental Anomalies at the Surface of Palladium after Electrochemical Loading of Deuterium and Hydrogen” *Analytical Chemistry* 63, 1696-1701 (1991)
- 2) McKubre et al. *Proc. ICCF8* p.3 “The Emergence of a Coherent Explanation for anomalies Observed in D/Pd and H/Pd Systems: Evidence for ^4He and ^3He Production”
- 3) First Announcement for ICCF9 (Beijing, May 2002)

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs25.htm>

No. 24 (2001. 5. 10)

- 1) Richard Rhodes 著”The Making of the Atomic Bomb”を読む(1)、
- 2) Naval Research Laboratory の報告書に出た M.H. Miles et al. の論文、
- 3) M.H. Miles et al. の論文にたいする WN の反応、
- 4) D.R. Rolison and W.E. O’Grady の 1991 年の論文について、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs24.htm>

No. 23 (2001. 4. 10)

- 1) Proc. ICCF8 が発行されたこと,
- 2) APS の March Meeting の報告,
- 3) Neutron Bands below Zero について,
- 4) 付録 Comment by S. Chubb on the “APS の March Meeting の報告”

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs23.htm>

No. 22 (2001. 3. 10)

- 1) FT にほぼ掲載可となった二つの論文,
H. Kozima, “Neutron Bands in Metal Hydrides --- Effects of Occluded Hydrogen on Nuclear Reactions in Solids”
H. Kozima et al., “Reality of ‘the Super-nuclear Interaction’ in Metal Hydrides and Deuterides --- Verification by Numerical Calculations for PdH (D)”

の Abstract と簡単な説明、

- 2) d-d fusion reaction の不可能性を論じた論文について、
- 3) アメリカ物理学会の 3 月会議の Cold Fusion Session の目次、
- 4) WN の関連論評

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs22.htm>

No. 21 (2001. 2. 10)

- 1) Possible Explanation of ^4He Production in Pd/D₂ System by TNCF Model (Fusion Technol. July, 2001) ,
- 2) Analysis of Zn and Excess Heat Generation in Pd/H₂ (D₂) System by TNCF Model の Abstracts, および
- 3) “Discovery of the Cold Fusion Phenomenon” についての G. Mallove の書評について、
- 4) Quantum Mechanics and the Medawar Zone,
- 5) Book Review on the “Discovery”

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs21.htm>

No. 20 (2001. 1. 10)

- 1) 遷移金属水素化物における水素の拡散について、

2) 第8回ロシア会議の詳細、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs20.htm>

No. 19 (2000.12. 10)

1) 新しい論文が *J. New Energy* にでました、

2) 中性子星媒質における中性子と陽子のクラスターの存在について、

3) George Miley の *Fusion Technology* の Editor 退任について、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs19.htm>

No.18 (2000. 11. 10)

1), *Fusion Technology* に新しい論文を投稿したこと、

2) JCF2 がひらかれたこと、

3) RCCNTCE8 が開かれたことに関連した記事、

4) 沢田哲雄氏の「Cold Fusion へのメッセージ」第三部、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs18.htm>

No.17 (2000.10. 10)

1) *Fusion Technology* に投稿した新しい論文の内容、

2) 10月11日に Wednesday Seminar of Physics で”Thermal Neutrons and Their Influences on Nuclear Reactions in Solids” を講義すること、

3) *Infinite Energy* No.32 (2000) に E. Storms が書いた CF の Review の中の CFRL モデルに関する部分、

4) アメリカ原子核学会の秋の大会の CF 関係の分科会の様子、

5) J. Dash の最近のデータ、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs17.htm>

No.16 (2000.9. 10)

1) ICCF8 の報告 4(詳細 3)、

2) 大会委員長の F. Scaramuzzi 教授のまとめ、

3) 筆者の ICCF8 のまとめ、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs16.htm>

No.15 (2000. 8. 10)

- 1) インドの **Transworld Research Network Inc.** が出しているシリーズの一冊、'*Recent Research Developments in Electroanalytical Chemistry*' に投稿を依頼され、"**Electroanalytical Chemistry in the Cold Fusion Phenomenon**" を書いて送りました。今年中には出版される予定です。その **Abstract** をお目にかけます。次に懸案の
- 2) **ICCF8** の報告 3 (詳細 2) を掲載しました。興味深い実験結果の紹介とそれにたいする私のコメント

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs15.htm>

No.14 (2000.7. 10)

- 1) **ICCF8** の報告 2 (詳細1)、
- 2) *Int. J. Hydrogen Energy* に出た我々の論文の **Abstract**、
- 3) 第 2 回 **CF** (固体内核反応) 研究会講演会の開催予定概要、
- 4) 北海道大学名誉教授の延世三知夫氏のエッセイ、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs14.htm>

No.13 (2000.6. 10)

- 1) **ICCF8** の報告 (1) (概略)、
- 2) 沢田哲雄氏のエッセイ「**Cold Fusion** へのメッセージ」(2)

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs13.htm>

No.12 (2000.5. 10)

- 1) **ICCF8** のプログラム抜粋、
- 2) 筑波大学教授を定年退職した沢田哲雄氏がこの **News** の為 に書いて下さった **CF** に関するエッセイ「**Cold Fusion** へのメッセージ」の前半、
- 3) 中性子親和力について、
- 4) モデルの進化について、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs12.htm>

No.11 (2000.4. 10)

- 1) *Intern J. Hydrogen Energy* に出た 3 篇の論文のこと、

- 2) ICCF8 で発表する論文 3 篇、
- 3) 総合報告 "Electroanalytical Chemistry in the Cold Fusion Phenomenon" について
- 4) 見逃し因子について (2)、
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs11.htm>

No.10 (2000.3. 10)

- 1) H. Kozima and K. Kaki, "Anomalous Nuclear Reactions in Solids Revealed by CF Experiments" *Rep. Fac. Science, Shizuoka Univ.* **34, 1 (2000)** の summary,
- 2) Bockris の論文 "Early Contributions from Workers at Texas A&M University to (so-called) Low Energy Nuclear Reactions" について、
- 3) 通産省の高レベル放射性廃棄物処理計画について、
- 4) *Il Nuovo Cimento* に出た論文、
- 5) *IJHE* に出る論文 3 編、
- 6) S. Tsvetkov の特許、
- 7) 見逃し因子 Missing Factor についての考察、
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs10.htm>

No.9 (2000.2. 10)

- 1) *Fusion Technol.* **37, No.5** に出る論文の Summary、
- 2) *Il Nuovo Cimento* に出る論文と *EPJ* の編集方針について、
- 3) American Physical Society の CF 分科会、
- 4) Magnetic Trapping of Neutrons について、
- 5) 科学についての考察、
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs09.htm>

No. 8 (2000.1. 10)

- 1) *Intern. J. Hydrogen Energy* に投稿した第 4 論文が掲載可で受理されました
- 2) 荒井邦仁君の努力で CFRL の Webpage がほぼ完成しました
- 3) NERI 計画に応募した Miley の研究が最終的に不採用になったそうです(科学の社会的基盤について)
- 4) 常温核融合現象の理論について
<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs08.htm>

No. 7 (1999. 12. 10)

- 1) *Il Nuovo Cimento* に出る論文の Synopsis,
- 2) *Il Nuovo Cimento* の Referee の TNCF model の認識、
- 3) 「放射線科学」に投稿した論文「生物核変換の不思議」のこと、
- 4) ICCF8 に投稿した論文 6 編、
- 5) 日本における環境中性子の測定データ、
- 6) 原子核の殻構造の彦坂モデルについて、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs07.htm>

No.6 (1999.11.10)

- 1) *Fusion Technol.* に出た論文の Summary
- 2) *Rep. Fac. Science, Shizuoka Univ.* に投稿した論文の紹介、
- 3) *Il Nuovo Cimento* に出ることになった論文、
- 4) *IJHE* にでる 3 論文、
- 5) 「放射線科学」No.9 と No.10 に出た解説論文、
- 6) Bockris の TNCF モデルの紹介 (*Infinite Energy*)、
- 7) NERI 計画その後、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs06.htm>

No.5 (1999.10.10)

- 1) 前号で予告した DOE の NERI (Nuclear Energy Research Initiative) 計画に G. Miley の「低エネルギー核変換」が採用された件の詳報、
- 2) 雑誌 *Time* の *The Century's Greatest Minds 100* の第 4 集から Fleischmann と Pons についての記事、
- 3) 『放射線科学』Vol.42、No.10 と No.11 に、小生が書いた解説記事「常温核融合研究の現状」が掲載予定であること、
- 4) RCCNT7 の顛末、

<http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs05.htm>

No.4 (1999. 9.10)

- 1) *International Journal of Hydrogen Energy (IJHE)* に投稿した新論文

- 2) 同誌に掲載予定になったの論文
 - 3) *Fusion Technol.* 36, No.3 (1999)に出る論文 (News No.2 で触れた)の校正が済み
ました
 - 4) *Fusion Technol.* に掲載予定になった論文
 - 5) RCCNT7の手続きが、遅れてですが順調に動き出しました、
 - 6) 『放射線科学』に解説記事「常温核融合研究の現状」を書きました
- <http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs04.htm>

No.3 (1999.8.10)

- 1) *Fusion Technol.*に投稿した最新論文 **Neutron Drop; Condensation of Neutrons in Metal Hydrides and Deuterides** の概要、
 - 2) Bockris が拙著の第2版に寄稿してくれたエッセイの前半(省略した後半は、科学行政についての意見です。)
 - 3) ロシアの Tsvetkov が特許を認められたと報告してきました(1999.7.17)。
 - 4) *International Journal of Hydrogen Energy* に投稿した論文が受理されました。
 - 5) RCCFNT5 での発表論文の共著者への連絡。
- <http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs03.htm>

No.2 (1999.7.10)

- 1) J.O'M. Bockris のデータ解析の結果、
 - 2) ICCF8 の日程、
 - 3) **Neutron Cluster** の可能性、
 - 4) L.C. Case の実験の話
- <http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs02.htm>

No.1 (1999.6.10)

- 1) R. Murray の不定期メール「Vortex」に、珍しく CF に肯定的な記事が載っていたので、その L. Case の実験の話
 - 2) SSE の講演での Bockris による私の TNCF モデルの紹介に関連した話題
- <http://web.pdx.edu/~pdx00210/News/CFRLJpnNews/CFRLNs01.htm>